

① 学級経営の充実

小・中・高等学校を通じた学級・ホームルーム経営の充実を図り、子どもの学習活動や学校生活の基盤としての学級という場を豊かなものとしていくことが重要です。

学 校

今を生きる子どもたちにとって、

✎ 未来の社会に向けた準備段階としての場

✎ 現実の社会との関わりの中で、毎日の生活を築き上げていく場



学 級
(ホームルーム)

学 級
(ホームルーム)

学 級
(ホームルーム)

学 級
(ホームルーム)

学 級
(ホームルーム)

学級（ホームルーム）は子どもたちの学習と生活の基盤

教師と児童生徒との信頼関係、児童生徒相互のよりよい人間関係を育てるために、日頃から学級経営の充実を図りましょう。また、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により、児童生徒の発達を支援します。



参 考

学級経営で大切にしたいこと

ア 子どもの実態把握

生活背景を含めて、子どもの実態を把握し、子どもの行動の本当の意味(子どもの心の中にあるメッセージ)を理解しようとする。

イ 子どもとともに作るルール

子どもとともに、クラスの約束・ルールをつくり、他者と共に過ごすための社会性を育てる。

ウ 認め合い、高め合う学習集団

授業においてもグループ学習を取り入れる等、互いに認め合い、高め合う学習集団をつくる。

エ 厳しさと優しさのバランス

子どもの実態に応じて、厳しさと優しさのバランスの取れた毅然とした指導を行い、子どもたちが安心して学習や生活ができるクラスをつくる。

オ お互いをよく知る活動

人間関係づくりのゲームやトレーニングを取り入れ、子どもがお互いのことをよく知っている温かいクラスをつくる。

カ 班活動など組織的な活動

学校生活のあらゆる場面で生活班や学習班など、グループ活動(組織的な活動)を大切にする。

キ 子どもの自主性を育てる

S H R (朝の会や帰りの会) の運営を子どもに任せるなど、子どもの自主性を育てる。

ク もめ事を主体的に解決する力

もめ事や対立をチャンスととらえ、子どもたちに自ら主体的に解決する実践的な力を身に付けさせる。

ケ 子どもが輝く場面づくり

クラスのみなどで楽しめる活動を企画し、子ども一人一人のよさ・持ち味が輝く場面をつくる。